

ご存知ですか

民生委員・児童委員



私たちは、皆さんのさまざまな相談に応じる身近な「相談相手」です。そして適切な関係機関への「つなぎ役」でもあります。本市では10の地区に分かれて、それぞれ特色のある活動を行っています。今回はその一部を、各地区の委員からのレポート形式で紹介いたします。

社会福祉課生活福祉係 ☎0824・73・1166

庄原地区

本年度、庄原小学校児童の下校の見守りを実施しています。学期に1回というささやかな取り組みですが、これから徐々に定期的な活動にしていきたいと考えています。高齢者の方々に比べて、子どもたちとふれあう機会は少ないので、通学路と一緒に歩きながらのふれあいを通して、私たちが身近な存在として感じてもらえたらと願っています。



子どもたちが、犯罪被害に遭うといった悲しい事件は後を絶ちません。私たちの取り組みが社会全体で子どもたちを見守っていく体制の一助になればと思っています。

高・北地区

高・北地区の北地区民児協では、本年6月に川北小学校で、同校高学年の児童とゴルフ同好会とで、ゴルフを行いました。うまくボールに近づける人、空振りする人、近くても強く打ち過ぎてはみ出す人などで、歓声や悲鳴が響き合いました。児童はアドバイスを受けながら元気よくプレーし、和気あいあいのうちにしつかり交流を深めました。当民児協は、このように、地域の人と関わり合いながら、明るい元気な地域づくりができればと活動しています。



本田・敦信地区

毎月、情報交換や委員の資質向上を目的に定例会を開催し、活動の報告、意見交換、講師を招いての研修会などを行っています。写真は、委員活動の「喜・怒・哀・楽」をテーマとして行ったグループワークの様子です。日々の活動を通しての思いに分類し、自身の経験を通して意見交換を行い、「喜」「楽」を増やし、「怒」「哀」を減らすには、活動に何が必要か、何が大切なのかを話し合いました。そして、地域の人からの温かい声援や、感謝の言葉に支えられて活動をしていることを改めて感じることができました。今後も、活動にやりがいを感じながら地域の人に寄り添い、耳を傾け、つなぎ役として委員活動を続けていきます。



東・山内地区

東地区では住民同士のつながりがだんだん希薄になりつつある中、地域のにぎわいづくり、生きがいづくり、ふれあいづくりを目指して、有志の呼びかけで野菜の朝市（ひがし朝市）を

始めました。6月から12月まで月1回、東自治振興センター駐車場で開催しており、新鮮で、安全で、安い野菜が並びます。民生委員もこの活動に賛同し、積極的に野菜を出荷したり、購入したり、集まった人に声掛けをしたり、参加を呼び掛けたりしています。朝市が野菜を売り買いする場だけではなく、交流の場となっており、あちこちに話の輪が広がってきています。



西城地区

西城地区民児協には、高齢者福祉・障害者福祉・児童福祉の3部会があります。毎月の定例会では、各部会から事例発表をし、全体で議論を深め、研さんを積んでいます。また、災害時の役割分担についても関係者と検討しています。定例会は、委員一人一人が抱える問



題を皆で話し合い、分かち合う大切な場。地域福祉の最前線、日々地域の問題に取り組み中で切実な苦悩もありますが、民児協の仲間と集えば、「また頑張れる」と思えます。本年の活動目標は「研修の充実・楽しい民児協」です。この目標に向かって活動ができています。

東城地区

本年6月に開催された東城スマイル子どもまつりに、東城地区民児協も協力し参加しました。この祭りは、子どもたちをはじめとする地域住民が集い、世代間交流を推進し地域ぐるみで子育てを支援する「子育てしやすいまちづくり」を目的に開催されています。



ステージで行われた合唱・体操などの演技に「イクちゃん」や「ヒバゴン」のほか、民生委員・児童委員のキャラクター「ミンジ」も参加しました。これに併せて、民児協のPR活動として、当日の来場者507人に、PRティッシュ・PRカードなどを配布しました。今後も積極的に協力、参加し地域の宝を見守っていこうと考えています。

口和地区

毎年2回、町内の小中学校の校長と連携会議を行っています。1回目は、本年6月に行いました。3人の校長から各学校の概要や児童生徒の状況を聞きました。その後、各民生委員・児童委員が質問や意見を述べ、情報交流を行いました。

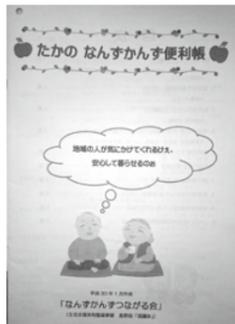


その中で、子どもや家庭の現状を踏まえながら将来を見通した中で、どのような教育が必要なのか意見交換をしました。「卒業後に課題にぶつかつたとき、乗り越えられる力を育てておくことも必要ではないか」など、いろいろな意見が交わされました。2回目は、年度末の3月に就学援助に関わる連携を行う予定です。

高野地区

毎月、「住み慣れた地域で安心して暮らせる地域（まち）づくり」を目的に、民児協と自治振興区・老人クラブ連合会・東輝会（特別養護老人ホーム）・市社協・市からメンバーが集まり、「なんぞかんずつながらる会」を開催し、話し合いをしています。

この会は、平成29年4月のJA高野生活セン



ターの廃止をきっかけに、町内の困りごとを拾ってみようとアンケート調査を行い、その結果について検討・協議する場として発足しました。話し合いをする中で、暮らしの便利帳「なんぞかんずつ便利帳」を作成し、各戸配布しました。

これからもこの会で、地域の困りごと（災害対策）などについて、解決に向けた話し合いを進め、住民が安心して暮らし続けることができるような取り組みをしようと思っています。

比和地区

本年9月、比和小学校5・6年生が「比和っ子田」の稲刈りを行い、民児協も参加しました。比和っ子田は世代を超えた活動を通して、地域の理解や食文化の継承、自然の恵みや勤労の大切さなどを理解する



総領地区

誰もが安心して暮らせる地域づくりをめざし、それぞれが担当する地域内を定期的に巡回しています。毎月開催する定例会では、活動報告、意見交換、講師を招いての研修会などを行っています。総領地域では、民生委員・児童委員がひとり暮らし高齢者等巡回相談員も兼ねており、日頃の見守りから、7月の西日本豪雨のような災害時や緊急時には、いつでも対応できるような状況把握に努め、関係機関と連携し在宅での生活を支援する活動を進めています。



総領地域では、民生委員・児童委員がひとり暮らし高齢者等巡回相談員も兼ねており、日頃の見守りから、7月の西日本豪雨のような災害時や緊急時には、いつでも対応できるような状況把握に努め、関係機関と連携し在宅での生活を支援する活動を進めています。